

事業所名 舞鶴市社会福祉協議会 舞鶴こども発達支援施設さくらんぼ園

公表 令和7年3月

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	57%	43%		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%		
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	86%	14%		
	6 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	100%	0%		
	7 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	86%	14%	・定期的に、職員に対する個別の聞き取りを実施しています。	・職員の意見をふまえ、業務改善に向けて検討していきます。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	43%	57%		
	9 職員の資質の向上を図るために、研修の機会が確保されているか。	86%	14%		
適切な支援の提供	10 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%		
	11 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、ニーズや課題を分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%		
	12 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%		
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%		
	14 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	71%	29%	・医療機関等から標準化された検査の結果等をいただき、情報共有しています。	・事業所内で標準化されたツールを含めたアセスメント方法の充実を検討します。
	15 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	57%	43%		・家族支援や地域連携の面では、コロナ以降にできていないことがあるため、現状に合わせた見直しを検討します。
	16 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	86%	14%		
17 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	86%	14%			

	18	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%		
	19	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	86%	14%		・療育開始前や終了後に、職員間での打ち合わせや振り返りの時間をしっかり確保するようにします。
	20	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	86%	14%		
	21	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%		・子どもに直接支援するための準備が丁寧にできていない現状があり、子どもや保護者に対して十分に支援できるようにしていきます。
	22	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	71%	29%		
関係機関や保護者との連携	23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	57%	43%		
	24	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%		・関係機関や保護者との連携は、子どもや保護者にとって必要だと考えるため、今後も充実に努めます。
	25	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	86%	14%		
	26	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	・療育見学や懇談を実施し、就学先と移行支援を行いました。	・併行通園先との連携や保護者支援の充実が必要と考えています。
	27	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%		・職員の経験年数に関係なく、子どもに対して共通理解の上で支援をしていけるようにします。
	28	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	71%	29%	・機会は少なかったが、保護者学習会を開いたことは良かったと思います。	・保護者は、保護者同士の関わりや学習会を望んでおられるように思いますので、計画します。
	29	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	71%	29%		・丁寧な説明や事業の案内などを心がけます。
保護者への説明等	30	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	86%	14%		
	31	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%		
	32	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	86%	14%		
	33	保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	71%	29%		
	34	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%		
	35	定期的におたより等を発行することや、HP等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	86%	14%		・おたよりやHP等でお知らせします。
	36	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	86%	14%		
	37	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%		

	38	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	43%	57%	<ul style="list-style-type: none"> <li>投票所として利用していただいています。</li> <li>地域の清掃活動に協力しています。</li> <li>学生の福祉体験や実習を受け入れています。</li> </ul>	
非常時等の対応	39	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	86%	14%		
	40	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	86%	14%		
	41	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%		
	42	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	71%	29%		
	43	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	86%	14%		
	44	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	43%	57%		<ul style="list-style-type: none"> <li>身体拘束を行う必要がある場合には、説明を行って了解を得て、個別支援計画に記載します。</li> </ul>